



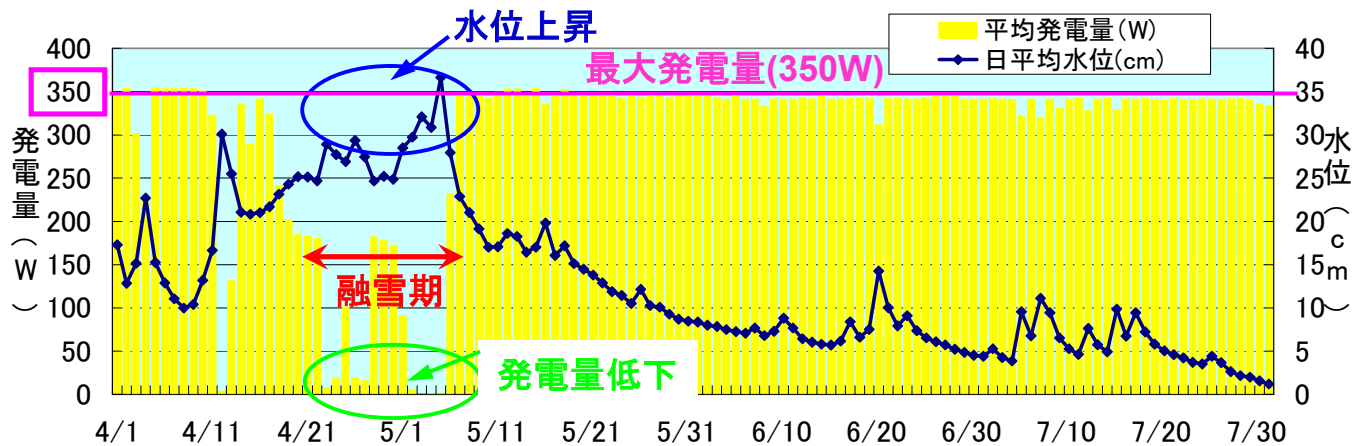
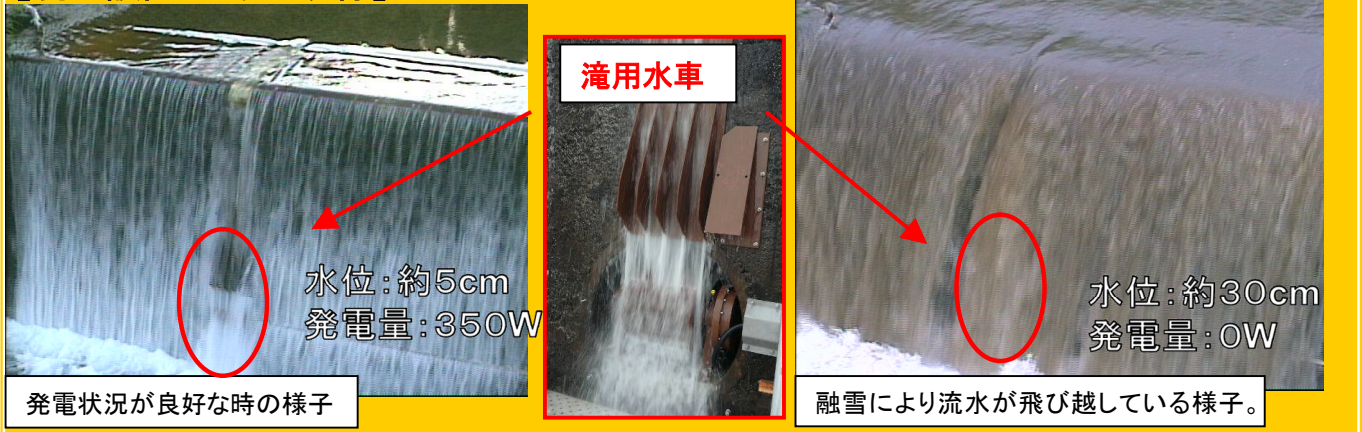
小水力発電による発電状況の報告パート2！！

～砂防堰堤を活用した新たな試み～

当事務所では、砂防堰堤を利用した新たな小水力発電の取り組みとして、砂防堰堤の越流水の落下により発生するエネルギーを直接利用する滝用水車形式による発電設備を樋ノ沢第1号砂防堰堤に設置し、現地にてモニタリング調査を実施しています。

モニタリング調査報告(4月～7月)

【現地設置カメラの映像】



【モニタリング結果】

- ・水位が上昇すると発電量の低下が見られます。原因としては越流流速の増加に伴い落下水が水車に作用しなくなっていることが考えられます。
- ・融雪出水後は、発電量が安定しています。(発電機の限界発電量は350W)

今後もモニタリング調査を継続し、常時安定した発電が行えるよう改良を進めていきます。